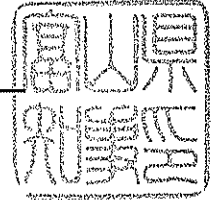




国土交通省道路局長 殿

道第254号  
平成19年5月8日

富山県知事 石井 隆一



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（回答）

平成19年4月2日付け国道企第114号で依頼のありましたこのことについて、別紙のとおり回答いたしますので、宜しくお取り計らいをお願いします。

（事務担当 富山県土木部道路課計画係）

# 《今後の道路政策や道路の整備・管理について》

道路は、豊かな国民生活や活力ある経済・社会活動を支える最も基礎的な社会資本であり、その整備促進に県民の熱い期待が寄せられている。

富山県では、本年4月に富山県総合計画「元気とやま創造計画」を策定し、『みんなで創ろう！人が輝く元気とやま』を基本目標として、「活力」、「未来」、「安心」のふるさとづくりを推進し、本県の魅力と存在感を全国や世界に示したいと考えている。

そのためには、今後とも、安全で活力ある地域づくりや利便性の高い社会を実現するため、高規格幹線道路から生活道路に至る道路網の体系的整備を一層推進することが重要である。

## 1 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

道路事業を進める上では、これまでも県民の多様なニーズに的確に応えていくため様々な取り組みを行ってきたところであるが、下記事項について、特に優先的に取り組んでいく必要があると考えている。

### ◆利便性の向上

- ・広域高速交通ネットワークの整備
- ・空港や港湾、インターチェンジ等の拠点施設へのアクセス機能を強化、充実する物流基幹ネットワークの整備
- ・豊かな自然、魅力ある観光資源、新幹線駅等を有機的に結び、連携を強化する広域観光ネットワークの整備

### ◆いのちを守る～安全性、快適性の追求～

- ・雪や災害に強いネットワーク構築により、年間を通して安全性、信頼性の高い、安全で安心な暮らしを支える道づくり
- ・交通事故対策の推進
- ・高齢者を含め誰もが安全・安心に歩けるユニバーサルデザインの観点での人にやさしい道づくり

### ◆魅力の創出、環境への配慮

- ・渋滞解消のためのバイパスや環状道路の整備により、CO<sub>2</sub>排出量の削減に努める豊かな生活環境の創造
- ・LRTなど公共交通と自動車交通との適切な機能分担を図り、総合的な交通体系の形成
- ・今後供用予定の北陸新幹線新駅周辺における新たな都市景観の創出
- ・中心市街地の活性化を支援する道づくり

## 2 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

公共工事のコスト縮減や事業評価など効率化を進める各種施策を実施しているところであるが、今後とも厳しい財政状況が続くことが懸念されており、これまでの取り組み含め下記事項について一層、強化していくことが重要である。

### ◆ 効率的な維持管理（アセットマネジメント）

- ・ 橋梁の長寿命化など計画的、効率的な維持管理
- ・ 道路舗装についても、予防的補修、修繕により延命化を図るとともに、さらなるコスト縮減策の工夫

### ◆ 整備効果の早期発現

- ・ 事業費の集中投資、スピードアップ化により道路事業の効果を早期に発揮させ、供用時期の明確化など道路事業の透明性、信頼性の一層の向上
- ・ 既存ストックの有効活用  
（高速道路でのスマートIC、フレッシュアップ事業等）

### ◆ 住民満足度の向上

- ・ 県民からの道路における必要な情報を配信、収集、把握
- ・ 県民に見える道路行政マネジメントの強化（成果指標の設定）

## 3 その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関すること

### ◆ 道路整備財源の確保

地方が真に必要としている道路整備・維持管理を計画的に進めていくため、地方の意向を十分に反映した次期社会資本整備重点計画を策定するとともに、特に遅れている地方の道路整備に対する重点配分など、道路整備財源の充実強化を図る必要がある。

### ◆ 県民とのパートナーシップの形成

道路愛護ボランティア制度の拡充等、県民とともに進める道路維持管理の仕組みを今後とも推進していく必要がある。

### ◆ 安定的な除雪体制の維持

豪雪地帯である本県では、冬期の安全で円滑な道路交通を確保するうえで、除雪体制の維持強化は、極めて重要である。

今後も安定的な除雪体制を維持していくために、民間から借り上げる機械の経費について、稼働時間に拘わらず一定範囲の支払いができるよう、制度の拡充を行うべきである。